

食 品 包 装 ト ラ ブ ル 解 決 講 座

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス グローバル教育部 共催

商品としての食品において、包装は重要な役割を持っており、包装に起因するトラブルは、商品の売れ行きを左右するだけでなく、商品の回収にも繋がります。

この講座では、食品メーカーが陥りやすいトラブルや包材メーカー（コンバーター）に起因するトラブルの具体的な事例を取り上げ、その原因と解決法を解説するとともに、トラブルを未然に防止するための対策について考察致します。

また、トピックスとして、“食品衛生法改正と対応”について解説いたします。食品メーカーの購買・開発、包装資材関連会社の営業、開発、品質担当の皆様には、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 特長

* 講師は長年、キューピー(株)で包装材料の開発を手掛けたスペシャリストです。

* 食品包装でよくあるトラブルについて、その原因と解決策を食品メーカーの目から伝授致します。

* 食品包装関係の人材育成に最適の実践講座です。

2. 日程及び費用

	東京会場	オンライン(ライブ配信)
場所	住友商事京橋ビル (中央区京橋1-17-10)	Zoom 方式
日程	4月 17日(木) 10:00 ~ 17:00	
受講料 (テキスト込)	会員:35,000 円 一般:42,000 円 (消費税抜き) * 同時に2名以上お申込みを頂いた場合は、1名につき 5,000 円(税抜)を減額させていただきます。	
定員	東京会場:30名	
募集締切日	開催10日前	
その他	* テキストは会場の方は会場で配布、オンラインの方は事前発送いたします。 * 募集締切日以降のキャンセルはお受け出来ません。代理の方の出席をお願い致します。 * 参加人員7名以下のご参加の場合は、延期または中止させて頂くことが ございます事を、あらかじめご了承願います。	

* 個人情報の取り扱いについて：ご記入頂いた事項は、今回のご参加確認・ご案内送付、および今後の弊社各種ご案内以外の目的には使用致しません。

I. 食品包装の企画段階でのトラブル事例と解決法

II. 食品包装の設計開発段階でのトラブル事例と解決法

III. 包装食品の市場流通段階でのトラブル事例と解決法

IV. トラブルを未然に防ぐには

4. お申込み要項 下記申込用紙にご記入の上、FAXまたはメールにてお送り下さい。

・開講約1週間前に、「当日案内、請求書(PDF)」を送付します。お受取後、ご受講料は請求書記載の銀行口座にお振込み下さい。・振込手数料は貴社でご負担願います。

・オンライン受講の方には同じく開講約1週間前に、「講座用アドレス」の配信案内、「講座用テキスト」の郵送を行います。

5. お問い合わせ先 大阪オフィス：TEL 06-6348-1363 宮口、遠藤

『食品包装トラブル解決講座』申込書

事務局：(株)東洋紡PPS 大阪オフィス 宮口、遠藤宛 (FAX 06-6348-1875)

E-mail: takuro_endo@grp.toyobo.co.jp, yoshinori_miyaguchi@grp.toyobo.co.jp へ送信下さい

2504

会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
Email			
所属			
役職			
氏名	フリガナ()		
会場	東京会場 / オンライン	*いずれかに○を付けて下さい	
PPS 会員	PPS会員 / 一般		

次ページもご覧下さい

< 内容紹介 >

I. 食品包装の企画段階でのトラブル事例と解決法

- ・食品の品質保持、環境対応、ユニバーサルデザイン、包装に求める機能や包装形態・内容量など、包装のコンセプト作成段階でのトラブル事例と解決法。

II. 食品包装の設計開発段階でのトラブル事例と解決法

- ・商品コンセプトの捉え方、食品の変質要因、流通条件、使用方法、適法性、リスクの考え方など、包装設計段階で陥りやすいトラブル事例と解決法。
- ・食品メーカーの要求事項の把握、新包材への適切な評価方法、食品メーカーと包材メーカーの判断基準の共有化、中身商品との関係など、新包材の開発・導入におけるトラブル事例と解決法。
- ・トピックス：食品衛生法の改正（ポジティブリスト導入）と対応について

III. 包装食品の市場流通段階でのトラブル事例と解決法

- ・量産段階でのトラブル事例と解決法。
- ・市場クレームに対する真の原因の把握、製品回収の判断、改善品の評価などのトラブル事例と解決法。

IV. トラブルを未然に防ぐには

- ・製品化のチェックリスト。
- ・マニュアル化できない包材開発と開発者の感性。

< 講師紹介 >

2/3

講師：野田治郎技術士 経営工学部門(包装・物流)

野田治郎技術士事務所 所長

日本包装学会 監事

元キューピー株式会社 研究所 主席研究員

- キューピー(株)にて、食品包装の研究開発、新製品に対する包装設計、容器包装の環境対策・安全性の確認などに従事。

1973年以降、キューピーで採用した新包材のほぼ全てに中心的に関与、その間社長賞を3度受賞。2013年1月退社。

- 2002年～2013年 日本包装学会 理事

- 2003年 消費者志向企業活動功労者として経済産業大臣表彰

- 2001年～2006年 ポリオレフィン等衛生協議会規格推奨委員長代理

- 2013年2月～ 野田治郎技術士事務所 代表

- 現在、経営工学部門の技術士として、技術士包装物流会会長、日本包装コンサルタント協会理事、契約団体の技術指導、講演等で活躍中。

- 最近の講演

日本包装技術協会 包装管理士講座講師、包装アカデミー講師、And Tech 講師、産業科学システムズ講師、食品ニューテクノロジー研究会講師、2016 東京パックステクニカルセミナー講師、R&D 支援センター講師、工業技術会講師、一般社団法人日本マテリアルフロー研究センター講師他多数

- 投稿論文・著書

「酸素吸収ソフトボトルの健康訴求マヨネーズタイプへの応用」 工業材料

「食品包装における環境対応包装の取組み」 包装技術

「食品パッケージへの要求と対応」 印刷雑誌

「プラスチック包装材料規制と製品開発最前線」 情報機構

「食品メーカーにおける包材開発と衛生管理」 軟包装衛生協議会 会報

「酸素吸収機能を付与したポーシオンパックの開発」 包装技術

「調味料・加工食品の包装に見るユニバーサルデザイン」 (有)シーエムシー・リサーチ

「おいしさ・健康・安全を包む！食品包装の基礎知識」(株)イプロス

「次世代電子レンジ対応包装・容器の最新開発事例と要求特性」(共著)And Tech

「食品包装に見るUDの動向」包装技術

「容器・包装の基礎と応用 応用編(1)機能性」日皮協ジャーナル

「高齢者に配慮した食品包装技術」JATAFF ジャーナル

「解説 食品における小分け包装の進化」日本包装学会誌

ほか

お申込みにあたり、下記事項をご了解・ご確認のうえ、お申込みくださいますようお願い致します。 2020年6月までの講座につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講座の開催を延期または中止致しておりました。 2020年7月以降の講座につきましては、開催の予定で進めておりますが、上記状況が改善しない場合、開催を中止または延期する可能性があります。 ご了承・ご確認の上、お申込みをお願い致します。 ※キャンセルポリシー※ <キャンセルについて> (1)お申込後、貴社のご都合によりキャンセルされる際は必ず弊社までご連絡ください。 (2)受付締切日は、各講座開講10日前です。締切日以降のキャンセルはお受けできません。 (3)当日都合が悪くなり受講できなくなった場合、代理の方の受講も可能です。 ※代理の方が受講される場合、事前に弊社までご連絡ください。 (4)締切日以降のキャンセル及び連絡無しでの当日不参加の場合は、キャンセル料として受講料全額のご負担をお願い致します。	<開催を中止または延期する場合> 3/3 (1)弊社の都合により(開催人数未達の場合など)開催を中止する場合、請求書発行前の段階でメール、またはお電話にて連絡致します。 (2)暴風雨、地震、津波等の天変地異、戦乱、暴動、官公署の命令、公的交通機関の運行中止や遅延、病災害の発生など、弊社の関与し得ない事由が生じた場合において、安全かつ円滑な開催が困難と判断した場合は、開催当日であっても、主催者判断において開催を中止または延期することがあります。 (3)やむを得ない事情での講師の欠席(死亡、病気・怪我、事故、交通トラブルによる遅刻など)があった場合、開催当日であっても、主催者判断において、開催を中止することがあります。 (4)上記(2)(3)の理由によってセミナーを中止または延期する場合、メール、またはお電話にて速やかに受講者様にお知らせいたします。(弊社HPにも掲載いたします) ※念のため、開催の前日・前々日には、弊社HPおよび弊社担当者からメールが来ていないかのご確認をお願いします。 ※開催当日にご入金頂いていた場合のご返金対応につきましては、個別にご連絡致します。 (5)上記の理由によって開催を中止または延期した場合、それに伴って生じた参加者の損害(交通費など)について、当社は一切負担しないものと致します。 お問い合わせ先 本講座についてご質問、ご不明な点などございましたら、下記担当までお問合せください。 東洋紡PPS 大阪オフィス： 宮口、遠藤 TEL(共通):06-6348-1363
--	--